

くずま～る美術館



町70周年を記念して、10月11日から19日までの9日間、まき×まきホールを会場に「くずま～る美術館」が開催されました。会場内には、町出身や町にゆかりのある芸術家12人の作品が並び、落ち着いた空間の中で、来場者は一つ一つの作品と向き合うように足を止め、見入っていました。町をモチーフにした作品や町に関係の深い芸術家の作品とあって、より一層芸術に興味を持ち、身近に感じる機会になった様子でした。



▲町にゆかりのある芸術家の作品が並んだ会場



▲ゲストランナー2人を含め、ジョギングを楽しむ皆さん



▲町の乳製品やジュースなどが無料で振る舞われた「くずまきお振る舞いコーナー」

参加者に感想を伺いました



エネルギーコース

現在陸上競技部に所属しており、2人のトークが興味深かったです。2人とも楽しんで走っているのが印象的でした。自分も同じ気持ちで走れるように頑張ります。

かなた
土谷 奏太さん
(専修大学北上高校3年・元木)



ワインコース

散歩はよくしますが、走ったのは久しぶりです。足を上げたり、腕を振ったり、体の使い方が歩くのとは違いました。流れる景色も違うので、これからまたには走ってみたいです。

大川原 昭平さん、美代子さん
(江刈)



ミルクコース

子どもに「走ってみたい」と言われ参加。初めて親子で一緒に走るきっかけになりました。スタンプラリーやお振る舞いなどもあり、親子で楽しく参加できました。

上野 和哉さん、かりんちゃん
(城内小路)



▶元トップアスリートの対談に興味津々の会場の皆さん



▲軽快なトークで会場を沸かせる福士さん(左)と那須川さん

町70周年記念「まちなかジョギングフェスティバル」は9月28日、くずま～るを主会場に開催され、町内外から240人が参加しました。第1部トークショーでは、元陸上競技選手の福士加代子さんと那須川瑞穂さんが、競技を始めたきっかけやモチベーションの保ち方などを対談。元トップアスリートの対談とあって、参加者は興味深そうに耳を傾けていました。終始2人の軽快なトークに会場からは自然と笑みが広がり、和やかな雰囲気になりました。第2部ジョギングフェスティバルでは、距離の異なる「ミルク」「ワイン」「エネルギー」の3コースに分かれ、秋晴れの中、風を感じながらジョギング。福士さん、那須川さんも全コースに参加し、参加者と会話をしながら一緒にジョギングを楽しみました。ミルクコースには子どもが楽しめるスタンプラリーが設置されたり、発着地点のびっくテラスにはくずまきお振る舞いコーナーとして、町ならではの「郷土の味」が提供されるなど、参加者同士の交流も図られ、葛巻町を五感で感じられる1日となりました。

